



～枕崎市教育委員会だより～

TEAMまくらざき

発行 枕崎市教育委員会
枕崎市中央町184番地
TEL 0993-72-0170
FAX 0993-72-0677

巻頭言

ゲストの満足こそがホテルの使命

枕崎市教育委員会 教育長 木之下 浩一

表題は、かの有名な帝国ホテル開業以来19年間、その経営のトップとして初代会長を務めた渋沢栄一の言葉である。渋沢栄一といえば、「近代日本経済の父」と称され、生涯で約500もの会社の設立に携わった大実業家であり、新一万円札の顔となっている人と思われがちであるが、次のような役割も果たしていた。それは、明治時代に渋沢は、当時の外務卿 井上馨から、海外からの賓客を日本に迎えるために、迎賓館的な施設の建設を命じられ、東京の日比谷に帝国ホテルを誕生させ、自ら初代会長となったのである。彼の経営の信念は、「社会の要請に応え、貢献する」ことで、常に「ゲストの満足こそがホテルの使命」であることを社員に訓示していたという。

教職員は日々、学校で教育活動を行い、子供たちと接しているが、この訓示の「ゲスト」を「子供たち」に、「ホテル」を「教職員(学校)」に置き換えて読めば、「子供たちの満足こそが教職員(学校)の使命」となる。当然、先生方は子供たちに学校生活を楽しみに登校してほしいし、「今日は楽しかった。分からないところが分かった。仲良しの友達ができた」と、満足して下校してほしいと思っている。かつて、「喜んで登校、満足して下校」をキャッチフレーズに学校・学級経営を推進した学校があった。様々な工夫を行い、子供たちにスポットを当てつつ、業務改善にも取り組み、わずか二年足らずで子供たちの自己肯定感が格段に上がり、不登校やいじめが激減し、学力が上昇するなどの成果が出たという。それは、安直にそして唐突に取り組んだのではなく、子供の実態分析や調査研究、検討を累積し、先生方が納得・理解を深め、さらには大人(教職員)の理論よりも子供(含保護者、地域)の実態に基づく理論を大切にした結果、良質な教育環境の提供を可能にしたという。

ところで、渋沢は、会長を辞めてから帝国ホテルを訪れた際に、社員へ次のように声を掛け、より一流のホテルを目指すように激励したという。

「色々な風俗習慣の、色々な国のお客を送迎することは、大変にご苦労様なことである。骨の折れる仕事である。

然し乍ら(しかしながら)君達が丁寧に能(よ)くして呉(く)れば、世界中から集まり、世界の隅々に帰って行く人達に日本を忘れずに帰らせ、一生日本をなつかしく思い出させることの出来る、国家の為にも非常に大切な仕事である。精進してやって下さいよ。」

とても寒かった冬が終わり、桜の花が少しずつ咲き始め、春の香りが微かに漂うよい季節になった。学校では、小・中学校の卒業式が行われ、進級・進学など次のステージに向け、準備が始まった。また、先生方の人事異動発表もあり、子供たちと一緒に思い出をつくってきた先生方との別れの季節となった。進級・進学する子供たちは、新たな気持ちで新年度の学校生活に期待を膨らませ、転出される先生方は枕崎市での経験から得た実績を携えて新任校に新たな風を吹き込んでほしい。転出される先生方、枕崎の子供たちが大変お世話になりました。ありがとうございました。

4月の行事予定		
日	曜	行 事
1	火	教育委員会辞令交付式・学校主事・学校司書業務員辞令交付式・地区公民館長辞令交付式・市民会館管理業務研修会・校長辞令交付式・新任校長研修会・新規採用教職員辞令交付式・フレッシュ研修基礎研修・新規採用養護教諭・栄養教諭研修・地区公民館主事・センター主事辞令交付・地区館主事・センター主事研修会
2	水	
3	木	文化財点検 SET・英語補助員打合せ
4	金	会計年度任用職員辞令交付・研修会 少年の船実行委員会
5	土	
6	日	
7	月	図書館休館 小中学校入学式・始業式 市公連会計監査・市子連理事会①
8	火	定例教育委員会・転入職員宣誓式・研修会 1学期給食開始・県立高校入学式
9	水	市教頭研修会①・市事務職員研修会① 地区館連絡会①・普通救命講習
10	木	市校長研修会①
11	金	生徒指導主任研修会・教育支援センター説明会 就学援助事務説明会・郷土民芸保存会理事会
12	土	
13	日	「薫風の陶芸展2025」～5/6(南浜館)
14	月	図書館休館日 第1回指導主事等会議(オンライン ～16)
15	火	心臓健診①・市文化財点検 社会教育行政研修会(オンライン)
16	水	心臓健診②・南薩地区教育委員会連絡協議会総務課長等会議及び会計監査・県市町村教育長会第1回役員会・南薩地区スポーツ協会連絡協議会理事会・評議委員会
17	木	全国学力・学習状況調査(基準日)・情報教育担当者会・新規採用養護教諭・栄養教諭研修校長・指導教員等連絡協議会・市公連理事会①
18	金	心臓健診③・特別支援学級担任等研修会① 市民あいさつ運動・南薩地区フレッシュ研修実施校校長等連絡協議会
19	土	青少年育成の日
20	日	市民会館休館日・家庭の日
21	月	図書館休館日
22	火	市町村公立学校施設設備等説明会・市P連運営委員会・第1回新規採用養護教諭・栄養教諭研修(オンライン)・人権同和教育推進に係る連絡会(オンライン)
23	水	尿検査1次・サン・フレッシュ枕崎運営協議会・フレッシュ研修(オンライン)・中学校臨時免許状による教科担任等研修会(オンライン)・県連合校長会総会・第1回南薩地区栄養教諭等研修会・「学習者主体の授業」実現プロジェクトに係る地区推進委員会・南薩地区社会教育振興会総会
24	木	小・中連携教育担当者会・市学校給食担当者研修会①・市社会教育学級主事会・館内整理日(図書館)・南薩地区新規採用小・中・義務教育学校事務職員研修会・中体連第1回地区評議員等研修会
25	金	第1回地区教育長会・第1回南薩地区小・中・義務教育学校校長研修会
26	土	
27	日	
28	月	図書館休館日
29	火	昭和の日
30	水	市教頭研修会②・第1回南薩地区臨時的任用教職員等研修会

鹿児島学力・学習状況調査

1月に実施された令和6年度鹿児島学力・学習状況調査の結果が公表されました。今年度から調査の名称が鹿児島学習定着度調査から変わり、方法も紙ではなくタブレット端末を用いたC B T (Computer Based Testing)で行われました。

小学校5年生(4教科)、中学校1年生(5教科)では、全教科で県平均を上回る結果でした。中学校2年生は1教科が県平均を上回りましたが、平均正答数で比較すると、どの教科も1問以内の差となっています。

これまで各学校で計画的・継続的に進めてきた授業改善や学力向上の取組を通して、学力の定着が全体的に図られてきていることが、今回の結果につながったと捉えています。

各学校では、結果の分析を通して、児童生徒の実態や状況を把握し、教職員の更なる指導力向上や今後の授業改善への取組を継続するとともに、授業や持ち帰りによる家庭学習におけるタブレット端末活用の充実を図ることで、更なる学力向上に向けて取り組んでいきます。

【令和6年度鹿児島学力・学習状況調査の結果】

小5	国語	社会	算数	理科
県	64.6	61.8	65.6	65.0
地区	62.3	61.0	63.7	63.0
市	65.3	66.4	68.7	68.2

中1	国語	社会	数学	理科	英語
県	62.9	52.4	48.8	57.9	58.8
地区	61.1	51.2	48.5	58.5	58.4
市	63.9	55.0	52.8	63.5	65.0

中2	国語	社会	数学	理科	英語
県	66.3	47.0	40.9	52.4	52.8
地区	65.9	44.1	42.1	53.6	51.9
市	62.7	46.6	41.2	51.6	49.4

県平均以上

春休みの過ごし方について

～枕崎市校外生活指導連絡会 申し合わせ事項の徹底～

子供たちが4月からの新学期をスムーズに迎えられるために、「なぜ校外生活指導連絡会の申し合わせ事項が設定されているのか」「なぜ小・中学生だけの遊技場への出入りが制限されているのか」などについて子供たちと一緒に考える機会とし、生徒指導事案の未然防止への協力をお願いいたします。

～子供たちの心の声に寄り添った対応～

学年末から学年始めの時期は、子供たちの心も期待と不安で予想のつかない行動を見せることも大いに考えられます。「この子は大丈夫だろう」という思い込みはせずに、常に眼の前の子供たちの心情の変化に気付くことができるよう、心にゆとりをもった対応をお願いいたします。

「体力アップ!チャレンジかごしま」学校賞

今年度も、全ての小中学校で、県が推奨する「体力アップ!チャレンジかごしま」に取り組み、仲間と楽しく協力し合いながら運動を継続することを通して、体力の向上を図りました。

先日、県の年間ランキングが発表され23項目(小学校13項目、中学校10項目)で、市内の小中学校がトップ10入りをしました。

さらに、県の学校賞を別府小学校と別府中学校が受賞し、地区の最優秀賞を立神中学校が受賞しました。

来年度も、子供たちが楽しみながら運動に親めればと思います。



表彰式の様子(別府中学校)

優良 PTA 文部科学大臣表彰(別府中学校)

2月28日(金)、文部科学省第一講堂において、別府中学校PTAが令和6年度優良PTA文部科学大臣表彰を受賞しました。今年度は、全国47都道府県の小・中学校、義務教育学校、特別支援学校、私立幼稚園、認定こども園PTAから合わせて112の園と校、鹿児島県内からは2校(枕崎市立別府中学校・鹿屋市立東原小学校)が表彰されました。

今回の表彰は、長きにわたり学校・家庭・地域の三者が一体となって推進してきた別府中学校PTAの取組が高く評価されたことによるものです。

別府中学校PTAのこれまでの取組に対し、深く敬意を表します。



文部科学省での表彰式の様子

多様な子供たちを尊重する教育～特別支援教育～

インクルーシブ教育システムとは

「インクルーシブ教育システム」とは、「学校」という同じ場で学ぶことを追求しつつ、その中で子供に合った学びの場(特別支援学級等)を提供するシステムのことです。

その先には「共生社会」が見据えられています。障害のある、なしに関わらず、皆が共に生活できる社会です。

枕崎市では、通常の学級、通級指導教室、特別支援学級、どの学級で学んでも、切れ目のない支援を受けることができるように「特別支援教育支援員」を多数配置し、子供たちの支援にあたっています。

障害のある、なしに関わらず、安心して子供たちが学ぶことができる環境のためには、地域の皆様の正しい理解が不可欠です。ぜひ、障害について学んでみてください。